

平成 31 年 2 月 18 日

会 員 各 位

茶 学 術 研 究 会  
会 長 森 田 明 雄

第 34 回茶学術研究会講演会及び総会のご案内

余寒の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本会の総会ならびに講演会を下記のとおり開催いたしますのでお繰り合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1 日 時 平成 31 年 3 月 18 日 (月) 10 時 00 分から 17 時 00 分

2 場 所 ホテルアソシア静岡 4F 「カトレア」

〒420-0851 静岡市葵区黒金町 56 番地 Tel: (054) 254-4141

(JR 静岡駅から徒歩 1 分)

3 総 会 (14 時 10 分～14 時 30 分)

総会附議事項 (1) 平成 30 年度事業報告・決算について

(2) 平成 31 年度事業計画・予算について

4 講演会

(1) 会員講演 第一部 (質疑応答を含め 1 演題 15 分) 10 時 00 分～11 時 30 分

① 10 時 00 分 「抹茶含有食品の心理的ストレス軽減に与える影響：二重盲検ランダム化比較試験」 静岡県立大学薬学部 濱本 伸吾

② 10 時 15 分 「ブドウ球菌毒素による JAK/STAT 系活性化機構およびカテキン類によるその抑制メカニズムの解析」 静岡県立大学大学院 黒川 亜美

③ 10 時 30 分 「茶カテキン類の含硫臭気成分に対する消臭作用の解明」 神戸学院大学栄養学部食品機能学部門 大上 歩

④ 10 時 45 分 「高密度 DNA マーカー情報を用いたチャ品種・遺伝資源における遺伝的多様性の解析」 岐阜大学大学院連合農学研究科 山下 寛人

⑤ 11 時 00 分 「機械定植したチャセル苗の台風による被害」 農研機構果樹茶業研究部門 池田 奈実子

⑥ 11 時 15 分 「茶カテキン医薬品の誕生までとその後」 茶研究・原事務所(株) 原 征彦

(2) ポスター講演発表 11 時 30 分～11 時 40 分

講演者が、パワーポイントで各 3 分程度の発表をする。

- ・チャ品種・遺伝資源の主要化学成分特性に関するフェノタイプング  
静岡大学農学部応用生物化学科 内田 知希

・PVPPを用いるカテキン標的蛋白質の新規精製技術の開発

神戸学院大学大学院 タン キンイ

・緑茶および生姜の脂肪蓄積抑制メカニズムにおける相互作用

静岡大学大学院総合科学技術研究科 長房 秀幸

昼食休憩 (11:40~12:30) 昼食は各自でお取り下さるようお願いします。

(3) ポスター説明 12時30分~13時00分

講演者によるポスターの説明を行う。

(4) 会員講演 第二部 (質疑応答を含め1演題15分) 13時00分~14時00分

⑦ 13時00分 「茶をめぐる状況変化と小規模生産者の経営対応」

成茶加納 株式会社 加納 昌彦

⑧ 13時15分 「江戸後期に茶の効能を記した「茶茗功能記」と「茶本草」について」

ふじのくに茶の都ミュージアム客員研究員 岩間 眞知子

⑨ 13時30分 「日・中の茶の博物館の国際交流 茶器の発展史の比較から」

ふじのくに茶の都ミュージアム客員研究員 吉野 亜湖

⑩ 13時45分 「日本茶の香味の特徴を伝えるためのフレーバーホイール」

農研機構金谷茶業研究拠点 堀江 秀樹

総会準備 (14:00~14:10)

(5) 総会 14時10分~14時30分

(6) 奨励賞の発表・表彰 14時30分~14時40分

休憩 (14:40~15:00)

(7) 茶学術顕彰表彰及び記念講演 (質疑応答を含め60分) 15時00分~16時00分

「チャの品種改良の現状と今後の課題」 日本茶業学会 会長 武田 善行

(8) 特別講演 (質疑応答を含め60分) 16時00分~17時00分

「カテキンの機能化と再生医療への応用」

大阪歯科大学中央歯学研究所 准教授 本田 義知

◎ 演題及び順番につきましては、変更する場合がありますので、よろしくお願ひします。

〒420-0005 静岡市葵区北番町81番地 (公社)静岡県茶業会議所内

茶学術研究会事務局 担当 天野

TEL:054-271-5271 FAX:054-252-0331 E-mail:[wbs01260@mail.wbs.ne.jp](mailto:wbs01260@mail.wbs.ne.jp)